

三友会 だより

第 86 号

平成 31 年 4 月 20 日発行

宮崎市神宮西 1-49-1

TEL : (0985)32-2234

<http://www.sanyu-kai.or.jp/>

発行者 石川 智信

日常を当たり前生きる

石川 智信

ある患者さんから言われた。「先日、先生がお孫さんと公園を散歩されている姿を見かけました。微笑ましく感じると共に羨ましかったです。」その人は癌の再発を繰り返していた。私と年が近く、孫も同じような年らしい。「自分の残された時間を意識しだすと、何か特別なことをしたいとは思わない。ただこれまでの当たり前の日常生活が愛おしく、かけがえのないものを感じる。散歩道の見慣れた風景、隣人との何気ない会話も新鮮に感じる。これまで、日常を普通に生きることのありがたさに気付かなかったことを悔やんでしまう。」

私たちは変わらない日常を退屈に思い、非日常の世界に憧れがちである。日々を淡々と、丁寧に生きることはなかなかできない。毎日のように不平不満を口にし、誰かを羨望して生きている。自分の不運を誰かのせいにして、自らの努力を怠りがちである。そのような生き方は何も生み出さないことに、なかなか気づかない。

私もまたそんな一人である。ただ私の幸運は、日常を愚痴もこぼさずに淡々と生きているお手本と、日々向き合うことができていことであろう。「と-も-の-ぶ」といつものコールがかかる。はいはいと言って赴くと、いつもの難題が出る。その日は、「歯ブラシを鏡の手前に置いて下さい」と、「歯ブラシを鏡の下に置いて下さい」の違いを聞いてきた。表現が違うだけで、同じことを言っていることを説明するのはなかなか難しい。しどろもどろの私の説明に、妻はいつも状況を自分で描いたイラストで確かめる。言語練習帳に鏡と歯ブラシの配置図を幾通りも描いて、手前と下が同じ意味になることを納得する。そういえば先日、散歩の途中で転び、膝や麻痺側の足背を痛め、服のあちこちを泥だらけにして帰ってきた。幸い骨折はなかったが、こちらはいたく心配した。ところが本人は、自分の膝の挫傷をスマホで撮影し、その時の状況をイラストで描いていた。それらを出会う人々に「ほら痛かったよ」と、笑いながら見せびらかしていた。その底知れぬポジティブ思考に啞然とするのみであった。

言語のリハビリは、麻痺した手足のリハビリと共に、どんなに忙しい日でも欠かさない。時には早朝 5 時に起きて、昨夜眠気で中断した宿題に取り組んでいる。言葉を失って 10 年経ったが、日々受験生のように言葉習得や計算問題に取り組んでいる。

妻が入院していた頃、私は毎日のように「神様のバカヤロー」と叫んでいた。今は、妻が諦めることなく努力し続ける強い心を、神様が与えて下さったことに感謝している。そして日常を当たり前に生きていることができるありがたさを、妻を通して私に諭し続けてくれていることにも、ただ感謝である。

今年の桜は満開になるのが例年よりも遅かった。待ち遠しかった分、控えめな上品さを感じさせる花弁の美しさが目に染み入ってきた。そして思う。今年も妻や孫たちと桜を見ることができたことに感謝しよう。その場所は遠くの桜の名所でなくてもいい。いつもの散歩道に、いつものように咲く見慣れた桜だからこそありがたいのだと。



健康サポート薬局、ご存知ですか？

岡元 俊雄（岡元薬局）

健康サポート薬局、ご存知ですか？

この制度が始まって4年ほど立ちますが残念ながら知らない方がほとんどだと思います。

健康サポート薬局とは厚生労働省の定める厳しい基準をクリアしその後きちんと講習を受け合格した薬局だけが貰える認定資格のことです。宮崎県内では未だ6件宮崎市内に限っては岡元薬局のみが取得しています。難しい認定制度です。ではどういった薬局なのかというと認定を受けている薬局は地域住民のために積極的に健康をサポートするシステムを持っています。といってもなかなかイメージがつかないと思います。

薬局の役割、ご存知ですか？

実は薬局にはいろんな機能が備わっています。

- 病院の処方箋の薬を受け取れる
- OTC(市販されているお薬)の購入ができる
- 血圧計、ガーゼ、オムツ、絆創膏など医療に関わるものの販売ができる
- 生活用品(歯ブラシ、歯磨き粉、カミソリ、ピンセットなど)を販売できる

それに加え健康サポート薬局は

- 1、健康相談ができる
- 2、地域住民の方向けの勉強会を開催している
- 3、在宅訪問をしている etc

など薬局の中だけに収まらず、ありとあらゆる活動を企画、参加しています。

これからの薬局はお薬をもらうだけの場所ではなく、様々な相談ができるよう気軽に立ち入れる場所を提供していくのが私たちの使命ではないかと私は認識しています。当薬局には用事がなくても日々の日課として来ていただいている方もいらっしゃいます。

先日40年うちの薬局に通っていただいている患者さんが他界されました。

その患者様は「最後まで自宅で。」という切なる想いがありました。そして子供達にみっともない姿は見せたくないという希望も。。。毎日顔を見に伺っていたのですが、状態が日に日に悪化していくある日、いつものように伺うと息をひきとっている姿がありました。すぐに主治医の先生を呼びご家族が駆けつけるまでに生前患者様がご希望されたようにご家族が迎え入れられるよう最善を尽くさせていただきました。

患者様の希望に寄りそって。

患者様に少しでも寄り添っていきたい。

患者様お一人お一人のお役に立てるように、それが僕の夢です。

有限会社 岡元薬局

〒880-0011

宮崎市上野町6番18号

TEL: 0985-27-3223



「今日の一步は、明日へ繋がる」

(株) 宮崎ヒューマンサービス
福祉用具専門相談員 福島健雄

その利用者様は、いつも努力をされていました。

足に変形性疾患を抱えて歩行が困難でも、今以上に筋力が弱らないように。いつの日か、今よりも歩行状態が改善する事を信じ、平行棒やトレーニング器具を使用し自宅での自主運動をされておられました。

私が初めて出会った時は歩行時の体幹バランスを保つ事が難しく、身体をもたれかけながら使用する歩行器でないと転倒の危険性が高い状態でしたので、その状態に対応できる福祉用具として「ラビット」と言う歩行器を選定させて頂きました。暫くは、それを使用される事で、室内での移動は無理なく出来る様にはなりましたが、本人様の目標は高く、「安心して歩行器を使いながら屋外を歩ける様になりたい」と常々、言われていました。

その言葉は、なかなか思うように改善しない自分の身体を嘆きながらも、希望を捨てず、自分自身に言い聞かせる様に感じました。

最初の出会いから、3年ほど経った今年の2月、半年振りに連絡を頂き訪問した際、利用者様が嬉しそうに「前より少しだけ良くなったの!」と誇らしげに話して下さい「今の私に合う歩行器は何かしら?」と尋ねられました。

私は、本人様の身体状況や想いを伺い、今迄と違った機種をご紹介させて頂く事にしました。それが「リトルターン抑速付き」と言う機種です。この歩行器はコンパクトなので室内でもストレスなく使用出来、半分に折り畳む事も出来るので車載し易く持ち運びも楽に出来ます。また、後輪にコンパルと言う速度を抑制する特殊なタイヤを搭載しており、それにより歩行器が使用者よりも前に転がり過ぎるのを防止する事で安定した歩行状態を保つ事が出来る機種になります。

この「リトルターン」を使用され始めてから、その利用者様は今まで以上に高い目標を持たれ、屋外での歩行に少しずつ挑戦されています。夏が来る頃、笑顔で散歩を楽しんでいる姿を想像すると私も嬉しくなります。

これからも、私は沢山の方々のお手伝い出来るように仕事に励んで参ります。

福祉用具と利用者様の可能性を信じて…



「リトルターン」



「ラビット」

(株)宮崎ヒューマンサービス
宮崎市吉村町長田甲2351
電話(0985)38-9578

人の話くらぶ佐智 家族会

人の話くらぶ佐智 奥村 文美

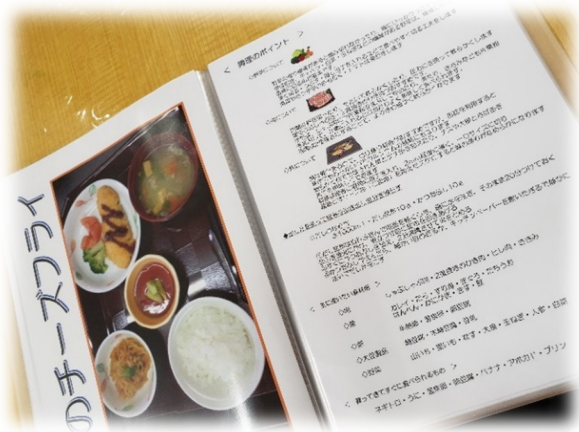
1月18日、人の話くらぶ佐智で家族会がありました。今回は13名の方に参加していただきました。

《家族会のスケジュール》

*12:30～ 昼食の試食会

献立：から揚げ、ミモザサラダ、豚汁、コーヒーゼリー
(管理栄養士が準備した資料の閲覧もありました)

*13:00～ 茶話会



献立の写真と調理法



調理の工夫とレシピ

試食会の感想

- ・とてもおいしかった
- ・味付けの勉強になった
- ・軟らかくしてあって参考になった



試食会の様子

試食会後の茶話会では、介護や言語障害に関する疑問や悩みなど、普段の思いを共有することができました。「杖を使って、あれこれ指示される。」など自宅でのコミュニケーションで困っている意見があれば、「元々口数も少ないのに、失語症になって言葉も出ず、最初はどうかと思った。しかし佐智に通うようになって、話すようになってきたと感じる」と嬉しい報告もありました。話せないことのストレスはご本人ももちろん、聞き手であるご家族も感じるものです。これからも利用者様の機能回復や日常生活・活動の充実を支援しながら、ご家族の思いを受け取り、共有する場の提供を行っていききたいと思います。



ネズミ公使・小村チュー公

いしかわ内科デイケア介護職 福田 涼

皆さんは、いしかわ内科前にある文化公園に宮崎を代表する偉人たちの銅像が建てられているのをご存知でしょうか？小村寿太郎、川越進、石井十次、若山牧水、高木兼寛、安井息軒の計6名の銅像が建てられています。今回はその中より、小村寿太郎について紹介します。

小村寿太郎は、飢肥藩(宮崎県日南市)藩士の長男として生まれました。6歳の頃より藩校(藩の運営する学校)の振徳堂に入り、その9年後に長崎にて数か月間英語を学び、その後、藩から推薦を受けて大学南校(後の東京大学)に入学。さらに第1回文部省海外留学生としてハーバード大学に留学し、法律を学びました。

外交官として有名な小村寿太郎ですが、幼少期からかなりの秀才だったことがうかがえます。

ハーバード大学を卒業して帰国した後は司法省に入省し、そののち外務省に移りました。外務次官、駐米大使、駐露大使を歴任し、1900年に中国で発生した義和団事件には日本の講和会議全権大使として事後処理にあたりました。

続く1901年には外務大臣に就任し、1902年には日英同盟締結を成功させます。日本とロシア帝国(現在のロシア連邦)が戦争した日露戦争後のポーツマス講和会議では全権大使としてロシア側と交渉し、ポーツマス条約に調印。この功績により、伯爵の位を授けられました。

1908年に再び外務大臣に就任すると、幕末以来、世界各国と結ばれていた不平等な条約を撤廃するために各国と交渉を開始し、1911年にアメリカと結んだ日米通商航海条約によって関税自主権の回復に成功しました。(関税自主権とは、国が輸入品に対して自主的に関税を決められる権利。当時、日本は認められておらず、各国と協議しなければ関税を決められなかった)

このように日本の発展に大きく貢献した小村寿太郎ですが、自らの役目を果たしたと悟ったのか、関税自主権を回復した年と同年に政界を引退し、11月26日に結核療養のために滞在していた別荘にて死去しました。56歳でした。

さて、ここで私・福田がタイトルに挙げた「ネズミ公使・小村チュー公」ですが、これは彼の身体的特徴によって付けられたあだ名だそうです。身長はパスポートには五尺一寸(約156センチ)と小柄で、顔はネズミに似ており、すばしっこく行動力があつたことから、海外の外交官からは「ネズミ公使(ラット・ミニスター)」、友人などからは「小村チュー公」とあだ名を付けられていたそうです。

そんな彼・小村寿太郎の銅像は文化公園の西口に建てられています。文化公園での散歩のついでに一度、観に行ってみてはいかがでしょうか？



旅立ちの日に

受付事務 中西 有里

「今 別れの時 飛び立とう未来信じて〜♪」

平成生まれのこの曲『旅立ちの日に』は若い子なら誰でも知っている卒業ソングの定番です。きっと今年の春もたくさんの子供たちが卒業式で歌い、未来に向かって巣立っていったことでしょう。私自身も今年はいろいろな意味でいくつかの卒業がありました。

今年の年明けは忙しい幕開けとなりました。仕事では一年で一番忙しいこの時期にインフルエンザが猛威を振るっていました。そんな中、次男の大学受験と卒業。それに並行して昨年から入院生活をしていた父が急変し、一進一退の状況が続いていました。何度も実家のある日向と宮崎を車で往復し、まるで出口の見えないトンネルを懸命に運転しているようでした。確実に私の人生で最も落ち着かない日々でしたが、時計の針は止まってくれるはずもなく無情にも刻々と時間は流れていきました。

そして四月の今、次男は県外へと旅立ち大学生活をスタートさせました。父は桜の花が開花し始めた春の良き日、天国へと旅立っていきました。闘病中、言葉を発する事が難しくなった父が私を見て「涙・・・」と、か細い声で言ったのです。目に涙を潤ませている私に「どうしたんだ、涙が出ているぞ。何かあったのか」と言いたかったのか、まだ死を意識していなかったのかは分かりませんが、苦しい中で発した優しい一言に私は涙がとまりませんでした。若い頃は仕事一筋、真面目で働き者の父でしたが、多感な時期の私と意見が合わず何度か対立した事もありました。ですが初めて親を亡くし命の尊さを知る事で、今湧いてくるこの感情は父への深い感謝しかありません。

世の中は平成から令和の時代へとかわろうとしています。次男を送り出し子育てを卒業した今、21年ぶりに夫婦二人の生活が始まりました。あの慌ただしかった三か月が嘘のように、ゆっくりとした時間が流れています。今更夫婦二人は気恥ずかしいですが、父の闘病生活の中で垣間見た両親の深い絆を知った私は、夫婦二人でも言いたい事を言い合い、それでも互いを支え合える存在でいられたら幸せだと感じています。そして遠い空から優しく見守ってくれている父がいる事を胸に、これから始まる「令和」の時代をしっかりと生きて行こうと思います。

湯池 早苗 (外来 看護師)

平成31年3月31日に入职しました。病棟勤務の経験しかありませんが、優しく明るく面白いスタッフの方々に助けられ、外来・訪問看護の勉強をさせて頂いています。患者様により添い、最後の時までその人らしい生き方を支えていけるよう、看護師として成長していきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



市来 香織 (外来 看護師)

平成31年4月8日より勤務しています。以前は宮崎市内の病院で働いていましたが、3年ほど「住んでみたい!」と思い北海道に移住していました。今後は地域に密着した医療を学んでいきたいと思いますので宜しくお願いします。



新人
紹介

赤星 由希子 (デイケア 介護福祉士)

平成31年2月1日からデイケアで働いています。介護の仕事は大変ですが、やりがいのある仕事だと思っています。職員の方々にも優しく教えて頂き、とても働きやすいです。利用者が日々安全で笑顔のある生活が送れるようコミュニケーションに努め、デイケアに通って頂けるよう頑張っていきたいです。宜しくお願いします。



中原 梨沙 (祇園デイサービス 介護福祉士)

初めてデイサービスで働きます。利用者様のお名前を早く覚えて、利用者様のお役に立てるよう笑顔で頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。

